

油面計が破損！ 何がぶつかったのか？

300系「のぞみ号」運行開始時(速度50km/h向上)にも多くの故障・事故が発生していた！ ダイヤ改正後の速度アップ(285km/h運転)に関係？？

4月3日、東京駅14番線で折返し営業列車にするために停車していた車両の台車油面計から油漏れが発見されました。

当日、ホームの下にいた関連会社社員が、ひかり465号(X44編成)13号車の台車にある油面計が破損し油が漏れている状態を発見しました。

ひかり465号は油漏れにより、代替えの車両に交換し30分遅れで発車しました。

油漏れが見つかった列車は、早朝、三島駅始発のこだま806号(7:49発)として東京駅まで営業運転した車両でありその距離は100Km以上あります。

油漏れの詳細や破損の原因について、今のところ会社は何も明らかにしていませんが、私たちは、今から23年前(1992年)、今は引退してしまいましたが300系車両が「のぞみ号」として営業運転を開始した時に、多くの事故や故障が発生したことを思い出すにはいられません。

当時、300系のトラブルに対して私たちは構造的な問題も含め、最高速度を220km/hから270km/hへと一気に50km/hも上げたことが原因ではないかと会社に訴え改善を求めました。車両事故だけではなく駅のホームにいた乗客が負傷する事故も発生しました。それは通過する列車がバラストを跳ね上げたのが原因でした。

現在、3月14日のダイヤ改正から最高速度が285km/hにアップされています。運転士や車掌として乗務されている乗務員の皆さん、車内の揺れはいかがでしょうか。確かにN700系車両は最新技術のシステムを導入して走行していますが、環境に及ぼす影響はどうなっているのでしょうか。今回の油面計が破損した事象とスピードアップが関係ないと言えるのかハッキリしていません。

JR東海労(新幹線地本)は、今回の「465A(X44編成)、13号車床下油漏れ」について申し入れを行いました。

小さな事故が重大事故につながらないよう私たちは、会社による原因究明と早期の対策を望みます。